

図書館の窓から

浜田高校図書館
R2.8.4 発行
1-4号



先日、大阪市中之島に「こども本の森 中之島」という児童図書館が開館しました。提案・設計を手がけたのは建築家の安藤忠雄さん。先日の新聞に、この図書館が紹介されており、安藤さんの図書館にこめた思い、子どもに対する思いが綴られていました。以下は記事の抜粋です。

「子供のころから知識を養い、自分で物事を判断し、将来の日本や世界をつくってくれるようになってほしい。」
そのための場が、子供が本を読むための施設なのだという。

ネットを通じて、あらゆる情報が入手できそうな現代において、あえて自ら身を運び、本を手にとって吟味する図書館の「面倒くささ」が重要だという。「面倒くさいプロセスを経て、自分で選び、身体を通して判断力を養う。…」
(朝日新聞 2020年7月5日(日))

言われてみれば図書館で本を選ぶことは「面倒くさい」ことかも知れません。

とかく私たちは手間のかからない道を選びがちですが、面倒くさい経験って、生きていくうえで間違いなく糧になるものです。というわけで、あえて「面倒くさい」道を選んでみませんか？



読書感想文コンクール 課題図書のご紹介

浜田高校では例年、1・2年生全員が夏休み課題として読書感想文に取り組んできましたが、今年は夏休みが短縮されたため、読書感想文は希望者のみ取り組むことになりました。

例年にも増して短い夏休みではありますが、読書を通じて湧き上がってきた思いを形にしてみませんか？

読む本は何でもOKです。課題図書は下記のとおりです。

740 『キャパとゲルダ ふたりの戦場カメラマン』

マーク・アロンソン/著 マリナ・ブドーズ/著 原田勝/訳 あすなろ書房

★1930年代に勃発したスペイン内戦の様子を描いた絵として、ピカソの「ゲルニカ」が知られています。戦場カメラマンとしてこの内戦を世界に伝えたのは、ロバート・キャパとゲルダ・タローという2人の若者でした。

913 『廉太郎ノオト』 谷津矢車/著 中央公論新社

★「花」「荒城の月」「箱根八里」などの唱歌で知られる作曲家、滝廉太郎。東京音楽学校に進学した彼は、その優れた才能を開花させますが、若干24歳にしてこの世を去っています。短い人生の中で後世に残る歌をいくつも生み出した、夭折の天才の物語です。

933 『フラミンゴボーイ』 マイケル・モーパーゴ/作 杉田七重/訳 小学館

★物語の舞台はフランス南部、フラミンゴの生息地カマルグ。この地にナチスが侵攻して来て…。フラミンゴと話せる少年と、ロマの少女の身に起こったこととは。戦時中の物語ではありますが、読み終えたときには優しい気持ちに浸れるはず。

夏休み中の図書館利用について

開館日 8月7日(金)、17日(月)、18日(火)

開館時間 8:15~17:00

※今年度は夏休み自体が短いことに加え、司書の出張や蔵書点検等のため、

図書館を利用できる日が例年よりも少なくなりました。

しかし！この3日間だけは自由に図書館を使えるわけです。

このチャンスを逃さず、本の世界に浸りに来てくださいね！

読んでみたい！先生のイチオシ本。今年度着任された先生方に本を紹介していただきます。

Vol.7 まつかわ ひとし 松川 均 先生(理科[化学]/自然科学部/2年部)のイチオシ本です！

『老人と海』(E.ヘミングウェイ/著、新潮文庫 1980年)

- 70年近く前に出版された有名な短編小説です。この作品が、ヘミングウェイのノーベル文学賞受賞を決定づけたとされています。小説の舞台はメキシコ湾。登場人物は老漁師サンチャゴと弟子のマノーリンという少年。一本釣りで大魚を狙い暮らしを立てていた老人は、3ヶ月近く不漁に悩み、そして少年は別の舟に乗るようになった。ひとりで漁に出たある日、大型のカジキをヒット、3日間の死闘の末に仕留める。カジキとの戦いの場面では、「がんばれ、がんばれ」と心の中で声援を送りながら読んだ記憶があります。しかし港に戻る途中、サメに狙われカジキを失う。少年も失っていた。この作品は、失うものと得るもので構成された作品です。弟子であった少年も港へと辿りついた老人に、少年はこう話しかけている。『これからは二人一緒に行こうね。ぼく、いろんなもの教わりたいんだもの。』
- 淡々とした描写が続きますが、一気に読める作品です。

本の おすすめ度 … ★★★★★

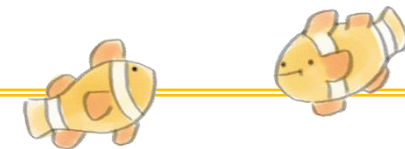


図書館日和

新型コロナウイルス感染症が流行し始めて以降、大正時代に日本でも猛威をふるった「スペイン風邪」について耳にする機会が増えました。皆さんもニュース等で聞き知ったのではないのでしょうか。そういえばこのたびの臨時休校中、学外の方からこんなお問い合わせがありました。

“スペイン風邪の流行時、旧制浜田中学も臨時休校になったはずですが、その期間が分かりますか？”

早速『浜田高等学校百年史』で調べると、臨時休校の期間は1918(大正7)年の11月4日~24日であったことが分かりました。ほぼ100年前にも同じようなことがあったのですね。しかしこの100年間に、市井の人(=私たち)の知識も得られる情報も、格段に増えました。各々が今できる対策に取り組むことで、この難局を一日も早く切り抜きたいものです。



読んでみたい！先生のイチオシ本。

Vol.8 **いわい だいすけ 岩井 大輔**先生（数学科/吹奏楽部/2-1 正担任）のイチオシ本です！

今年度着任された先生方に本を紹介していただきます。

『確率捜査官 御子柴岳人』(神永 学/著、角川書店 2011年)

冤罪を防ぐために効率的かつ正確な取り調べ方法の検証を目指し、警視庁世田町署内に新設された「捜査一課特殊取調対策班」(架空)。そこに、無理な取り調べに反発し同僚を殴り謹慎になった新米女性刑事・新妻友紀は、常識外れな行動を繰り返す数学者・御子柴岳人に出会います。署内で猫を飼い、アメを頬張り、取り調べ中にサングラスをかけ、ワガママな行動が目立つ御子柴は、「確率」を武器に圧倒的推理力で、心の深層を暴いていきます。御子柴に振り回される新妻は、直情的で一見正確な取り調べを目的とする「捜査一課特殊取調対策班」に向いてなさそうですが、誰よりも被害者・加害者の心に寄り添えるキャラクターです。この二人がペアを組み、様々な数学理論を利用しながら犯人を追い詰めていく姿を是非ご覧ください。



本の 数学度 … ★★★★★

【進路に関する本】

376『教養学部 中高生のための学部選びガイド』
木村由香里/著 ペリかん社

【カウンセリング】

146『10代から身につけたいギリギリな自分を助ける方法』
井上祐紀/著 KADOKAWA

★日常生活の中で感じる生きづらさってありますよね。そんなときは誰かを頼るべし。誰もが守られるべき存在だということを忘れずに。

【生き方】

159『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』日本ペンクラブ/編 ポプラ社
★10代の悩みごとに作家が真剣に回答。前を向いて生きていくためのヒントがきつとここに。

【在日外国人】

334『まんがクラスメイトは外国人 課題編』「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会/編 明石書店
★移民政策、貧困、戦争責任、領土問題など、外国にルーツを持つ子どもたちを取り巻く様々な課題を、事例に基づくストーリーマンガで描く。

【防災】

369『自然災害へのそなえ マイマップづくりのススメ』防災・減災サポートセンター/編著 文芸社
★私たちの身にいつ降りかかっても不思議ではない自然災害。命を失わないために、災害から身を守るための「マイマップ」をつくってみましょう。

【教育】

376『「考える力」を伸ばす AI 時代に活きる幼児教育』
久野泰可/著 集英社新書
★私たちがAI(人工知能)に取って代わられないためには、問題を発見し、解決策を考えて実践する能力が必要。「考える力」を伸ばすため、幼少期からなすべきこととは。

【化学】

431『13カ国語の周期表から解き明かす元素単』
原島広至/著 エヌ・ディー・エス
★化学で習う元素、なぜそう呼ぶのかわっていますか？この本で元素の語源、発見者、名称の由来を学びましょう。13カ国語の周期表等も掲載されています。

【動物】

480『マンガで学ぶ動物倫理』伊勢田哲治/著、なつたか/マンガ 化学同人
★ペット、家畜、狩猟、動物実験。私たち人間と動物のあるべき関係とは。

【医療】

498『どうする!?新型コロナ』
岡田晴恵/著 岩波ブックレット
★これからは「ウィズコロナ」の時代だと言われている。感染症をどう予防し、どう治療を受けるのか、今後のコロナ対策の見通しを解説。

【洗濯】

593『日本一の洗濯屋が教える間違いだらけの洗濯術』
洗濯ブラザーズ/著 アスコム
★アイロンかけは楽なほうがいいですよ。そして服が長持ちするに越したことはない。そのために「正しい洗濯術」を学びましょう。

【料理】

596『おトク素材で Cooking』シリーズ(ツナ/豆苗/油揚げ/納豆/冷凍うどん) オレンジページ
★一つの素材からいくつものメニューを作れるレシピブック。

【度量衡】

609『ニッポンのサイズ図鑑』
石川英輔/原作 淡交社
★尺貫法、貨幣単位、二十四節気、七十二候。日本人がかつて使っていた単位についてどれだけ知っていますか？

【商業】

675『60分でわかる!サブスクリプション』リンクアップ/著 技術評論社
★最近よく耳にする「サブスク」(定額課金モデル) ビジネスについて、わかりやすく解説。

【吹奏楽】

764『私たちの負けられない想い。新・吹部ノート』
オザワ部長/著 ベストセラーズ
★吹奏楽で全国を目指す高校生たちの姿を追うシリーズ。スキル向上、勉強との両立、部内の人間関係など、他の部活にも通じるモノがたくさん。

【スポーツ】

783.2『バレーボールの戦い方』
高橋宏文/著 ベースボール・マガジン社
★サーブ、レセプション、アタックからベンチワークまで、バレーボールの戦術をさまざまな角度・視点からマルチアングルに解説。

【日本語】

814『語彙力こそが教養である』
齋藤孝/著 角川新書
★ものごとを深く考え、自分の意見を持つためには、先にたくさんの言葉を知っていることが不可欠。語彙力を向上させるためのトレーニングをしましょう。

【英語】

834『英熟語図鑑』
清水建二、すずきひろし/著 かんき出版
★イラストで学ぶ英語の熟語集。熟語の知識を増やして、使える英語を増やしましょう。

【日本の小説】

913『まだ温かい鍋を抱いておやすみ』彩瀬まる/著 祥伝社
★友だち、家族、恋人…それぞれの人との思い出につながる「あの一皿」。食べ物がつなぐ6つの物語。
913『ハイ☆スピード! 1・2』
おおじこうじ/著 KA エスマ文庫
★泳ぐことが大好きな遙と、好戦的な凜。対照的な二人は、スイミングスクールで同じ目標に向かって泳ぐ。テレビアニメ「Free!」の原案小説。
913『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』大前栗生/著 河出書房新社
★「男らしさ」「女らしさ」の壁を越えて誰かとつながりたい、大学生の物語。

913『檸檬 (乙女の本棚)』
梶井基次郎/著、げみ/絵 立東舎
913『山月記 (乙女の本棚)』
中島敦/著、ねこ助/絵 立東舎
★現代文で扱った作品を、美しいイラストとともにもう一度堪能しませんか。
913『舞姫』川端康成/著 新潮文庫
★舞台の夢を諦めた母と、未来のプリマドンナの娘。妻にたかる父と、良心に否定的な息子。互いに嫌悪で結びつく家族の物語。
913『さよならの言い方なんて知らない。1~3』河野裕/著 新潮文庫 nex
★高校2年生の香屋歩の元に届いた奇妙な手紙。封筒には2年前に親友が最後に残したものと同じマークがあった。

913『水を縫う』
寺地はるな/著 集英社
★男なのに刺繍が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の「普通」や「当たり前」って、何だろう。

913『薬屋のひとりごと 1~9』
日向夏/著 主婦の友社
★舞台は中世のとある東洋の大国。花街で薬師をしていた猫猫は、後宮で下女として働くことになった。だがやがて、皇帝の寵妃の「毒見役」に抜擢され…。
913『カケラ』湊かなえ/著 集英社
★他人の視線と自分の理想。少女の心を追いつめたものとは? 「美容整形」をテーマにしたミステリー。

913『いのちの停車場』
南杏子/著 幻冬舎
★東京の救命救急センターで働いていた医師・咲和子は、故郷に戻り訪問診療医になった。在宅医療を学んでいく咲和子は、自宅で死を待つだけとなった父から安楽死を望まれ…。
913『クラスメイツ 前期・後期』
森絵都/著 角川文庫
★「中学生になったら、変わりたいって、思ってたんだ」。中学1年生の24人のクラスメイトたちそれぞれを主人公に、1年間を通して変化していく関係を描く。

【外国の小説】

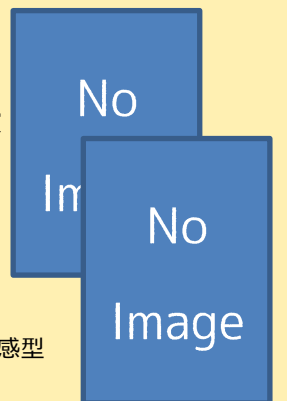
933『大統領失踪 上・下』
ビル・クリントン/著 早川書房
★大規模なサイバー攻撃の可能性を察知したアメリカのダンカン大統領は、それを阻止するべく、自らワシントンDCの街へと向かう。

📄 浜高生の研究成果がここに! 📄

昨年度の理数科および自然科学部の研究成果が掲載されています。浜高生の努力の結晶をぜひご覧ください!

376『未来の科学者との対話 18』
神奈川大学広報委員会全国高校生理科・科学論文大賞
専門委員会/編 日刊工業新聞社
>> 『色素を長持ちさせられる太陽電池の開発』

430『高校生・化学宣言 PART13』
中沢浩/ほか監修 遊タイム出版
>> 『ローダミン B 電解液・銀導電性フィルム色素増感型
太陽電池のための色素合成』



新着図書案内

・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・♪はリクエストされた本です

・📄は寄贈していただいた本です